

学校教育目標：志高く 未来を拓く 高西中教育

共に拓く

尾道市立高西中学校
第3学年通信第12号
令和3年12月23日

勝負の冬☆



鶴羽ヶ丘音楽祭、総合的な学習の時間と、学びを披露する場が多々あった2学期も終了。あっという間に過ぎた4ヶ月だったように感じます。振り返ってみると、日々、いろんな面で前向きに取り組んでいたみなさんの姿が思い浮かびます。

自分自身の進路とも向き合い、本格的に取り組み始めた今、これまでにないプレッシャーを感じている人もいないのでしょうか。特に、

推薦、選抜（I）に向けて頑張っている人たちは、一生懸命考えた文章が真っ赤になって返ってきたり、面接で緊張して思うように答えられなかったりと、どうしたらいいのだろう…と悩んでいる人もいることと思います。とはいえ、そのような重圧を乗り越えて、毎日毎日頑張って練習をしているみなさんはとても頼もしいです。面接や小論文は練習すればするほど上手になります。この冬休みも、引き続き、教科の勉強と面接、小論文の練習を両立させていきましょう。

さて、冬休み。冬休みは高校入試直前の勝負の時です。どのように過ごしていくか、みなさんの中にビジョンはありますか？先日の学年集会で、中畑先生から「受験は団体戦」というお話がありました。ともに過ごしてきた仲間も頑張っています。その頑張りを支えに、この冬休み、乗り切っていきましょう。とはいえ、仲間の頑張る姿を見て、「あれもしなきゃ！これもあるし！！」と気ばかり焦って、空回りをしてしまわないようにしてくださいね。志望する学校は人それぞれ違います。だから、やるべきことは人によって違います。人それぞれ得意不得意もあります。大切なのは、「自分は何をすべきか」考えることです。「自分自身」に目を向けて、「自分自身」をメタ認知してください。誰かに言われてやるのではなく、自分自身でやるべきことをみつけるためです。その上で、日々コツコツと勉強を積み重ねていきましょう。努力を積み重ねていくためには、入試から逆算した勉強の計画をしっかりと立てることが大切です。この日までに何ができるようにしていきたいか、まずはゴール（自分がこうありたい姿）を具体化してください。そこから

逆算して「ここまで何をやる」という計画を立てます。自分自身で計画を立てることで、やるべき内容が見えてきます。効率よく勉強を進めていくためにも、逆算計算による勉強計画はとても大事です。それから、急に難しい問題にチャレンジをするのではなく、分かるところを確実に増やしながらかつて学力を積み重ねる姿勢も大切です。「コツコツやる」ことを心がけてください。また、問題を解いていて、分からない問題や間違えた問題があったら、人に聞く前に、まず、解説をじっくり読んでみましょう。考える手がかりが必ずあります。それでも分からない時は、人に聞きましょう。分からないところがなかなか理解できなくても諦めず、粘り強く学習する姿勢が大切です。それだけでなく、正解した問題でも「なぜその答えになるのか」ということを理解するまで努力をしてください。何となく…の正解は本当の理解とは言えません。たくさん問題を解くよりは、納得できた問題を増やしていくイメージで、丁寧な学習をしていきましょう。それから、志望校の過去問も繰り返し解いてください。私立は学校によって問題が違います。繰り返し解くことで傾向が見えてくることもあります。じっくり問題に取り組み、「ここまで頑張ったから何があっても大丈夫！」と自信を持って言える、そして平常心で入試に臨むことができるみなさんであってほしいです。

また、生活リズムを崩さないように気をつけてください。心と体の健康が最優先です。かつて新型コロナウイルス感染症対策のため、休校になっていた時のことを振り返り、「休校中も、通常通りの学校がある時と同じリズムで生活した」と面接で話をした人がいます。冬休みも同様です。通常通り、学校がある時と同じリズムで生活をおすすめします。一般的に、朝起きて頭が動くまでには3時間かかると言われています。ぜひ、みなさんも入試を想定して、「夜は12時までに寝て、朝6時に起きる。朝ご飯を必ず食べ、トイレに行く。」といったサイクルをつくってください。生活リズムも大切な受験対策です。健康管理も意識して、インフルエンザなどにかからないように過ごしましょう。

保護者の皆様へ

いよいよ3年生にとって、勝負の冬休みを迎えます。1月から私立高校の入試が始まります。受験料の振り込みや願書等、お願いをすることが多々ありますが、ご協力よろしくお願いいたします。

第3学年の教職員も一丸となって受験へのサポートをしていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。